

破天荒

教宣部

4954号

2013年
6月18日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合

夏季一時金回答 2.24カ月

6月17日、夏季一時金の回答指定日でした。会社業績、世間動向、経済情勢を十分検討した回答ということと2・24カ月が提示されましたが、基本的には、一人当たりの月間経常利益を会社の計算式に当てはめて出された月数です。

梅雨の天気

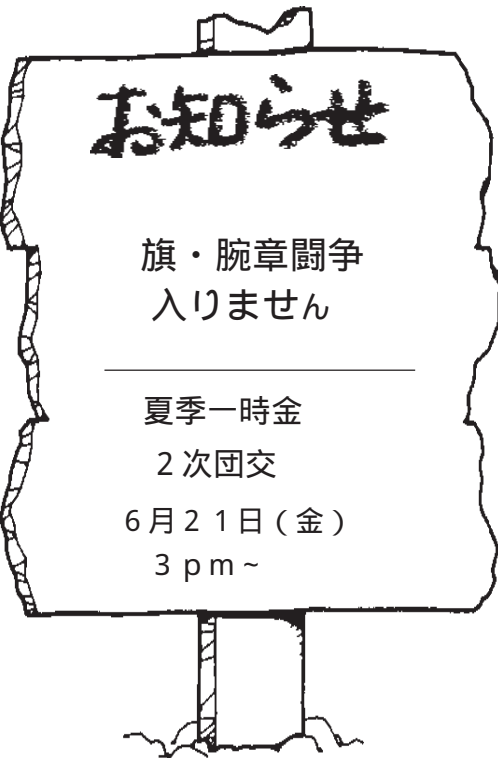
3社計売上げは、前年同期比9・3%マイナス、前期比6・8%マイナス、経常利益は前年同期5300万円マイナスの約6900万円です。若干ですが赤字でした。しかし、3社の業績内容は極端に異なっています。オプトは梅雨のない北海道の快晴、電子ははじめじめ蒸し暑い京都の曇り空、シス

テムは梅雨前線に台風が加わって大雨が降っている太平洋側という状況です。

電子・システムの梅雨空がいつまで続くことか・・・と心配です。会社は「世間の指数を見ると景況感は良くなってきたが、先行きは依然厳しい」と見ています。

電子

厳しい。海外は円安メ



闘争は無し
組合の主張している、安心して生活設計を行うための安定した一時金2・412カ月より低い回答が提示されましたが、システムがリーマンショック越えに厳しい状況の為。



リットとして円高での値引きをやらなくて済むことはプラス。ヨーロッパ・アメリカは受注増だが、韓国がダメ。国内はアベノミクスで景気の気は上がってきているが設備投資に繋がらない。新規開拓は目標達成しているが受注は小口化している。値引き競争も激しい。

年内新商品14機種により商品ラインナップが増えることは営業活動にプラスになる。鉄道パークキングなどに希望あり。

システム

売上げ低迷の理由は、設備投資の冷え込み、営業体制が出来ていないことにある。

赤字の中で社長交代後に名古屋・福岡・京都と営業体制作りをしてきた。アベノミクス効果により設備投資が上がってくることに期待する。人員補充の効果は今年後半から出てくると思う。大阪のカメラ事業部は今年中に大塚に引越すことになる。

オプト

メディカル事業部は好調。自動位置ズレ補正センサー、レーザーサイドポインターなど好調。パイが多いので客先の意見を反映した良い製品を作っていくとまだいける。

タイヤ関係でも、韓国の2大タイヤメーカーに納入と、今のところ順調な受注である。クレームを出さないことを大切にしている。

一時金

業績で一時金月数が決定されることは「当然」と言う人は多いかも。だが、業績が良くないという結果への責任が従業員にあるのか。世間の景気、経済情勢が影響することは理解するが、経営のやり方の影響が大きいのではないかと。

過去からの経営を線で見ると、今の電子やシステムの状況にも納得かも。だ。人事考課制度がなかったから、自社独自の業績で決定しなかったから、という営業有志の考えは間違っていないと断定できる。若い人材を採用してこなかったこと、人を育ててこなかったこと、技術の伝承ができなかったこと、客先からの信用を徐々に無くしてきたこと等々。。。過去の雇われ社長には中長期的な将来を見据えた考え方は無かったと思う。単年度で利益が出ていれば、自分の立場は安泰ということだけ。経営の責任を従業員の生活に転嫁しないでもらいたい。

各社毎の一時金

電子	2・24カ月
オプト	2・84カ月
システム	大赤字で不明

パート・嘱託社員は例年通りなので、

嘱託 1カ月
パート 1+ 1カ月
システムは不明

